

現場業務の成果を発表

四国森林・林業研究発表会開催

一月二十四日(木)局大会議室において、平成二四年度四国森林・林業研究発表会を開催しました。

「現場業務で得られた

成果等を発表」

六〇回目を迎えた今回の発表会には、局署等九課題のほか、小学校三課題、高校二課題、民有林等二課題、研究機関等五課題の二二課題が発表されました。

発表は、各現場等で取り組まれた日頃の成果が発表されました。

「会場では森林官等が

積極的に質問」

今回、各発表内容の充実はもとより、聴講された各署の森林官等が自署等の取組の現状と併せての質問には、外部からの聴講者にも好印象を与えていました。

発表後の審査委員会の結果、受賞課題等は裏面のとおりです。

次回(平成二五年度)の発表課題に向けて、各署等の現状に合わせて、地域の林家の方々等との連携も含めての取組に期待します。

参加された皆さま、1ヶ月ごとまでした。

研究発表事例にまなぶ

徳島署(20年度発表)

課題名「**民国連携による森林整備の推進**」
～共同施業団地での作業道・間伐の事例～
発表のあらまし

平成20年3月に民有林、国有林が連携して森林整備を実施することを目的とした「とくしまの森づくりに関する覚書」が徳島県と四国森林管理局長との間で締結。

これに基づき、徳島署と徳島県林業公社により「六丁陰傍示国有林」と「とくしま絆の森」について共同施業団地(270ha)を設定し協定締結。

協定の主な項目

森林整備目標

人工林における長伐期化と間伐により針広混交林へ誘導。

森林整備方法

協定者が連携して利用可能な間伐材を低コストで出材できる搬出方法の導入を推進。

森林施業に配慮した作業路網や施設の設置等。協定者が一体となって間伐等森林施業が出来るよう配慮した路網及び施設の設置等。これらは協定者相互の利用が可能等。

今後の展開

協定者相互の利用が可能な路網、効率的な集材架線の施設等により、間伐材搬出等の低コスト化に期待。

春の七草です



せり



なずな(ペンペン草)



ごぎょう
(ははこ草)



はこべら



ほとけのざ
(たびらこ)



すずな
(かぶ)



すずしろ
(だいこん)

編集後記

春の七草を紹介。今後、キノコ等も。はや二月。寒さの中にも、春の足音。

平成24年度 四国森林・林業研究発表会 受賞課題

四国森林管理局局長賞（最優秀賞1課題、優秀賞3課題、奨励賞3課題）

日本森林技術協会理事長賞（1課題）

日本森林林業振興会会長賞（1課題）

（優秀賞、奨励賞は発表順）

受賞名	受賞課題	発表者	
		所属	氏名
最優秀賞	囲いわなによるシカ捕獲試験 ～経過報告～	四国森林管理局 森林技術センター 業務係長 森林技術普及専門官	きたけ ゆうき 佐竹 祐記 たかの たかし 鷹野 孝司
優秀賞	「旅するチョウ アサギマダラの学 習を通して」	かたじ 香美市立片地小学校 4年生	かたあか ゆうた 片岡 裕太 ふじもと よしひさ 藤本 佳久 こい たいが 古井 大河 いくい ゆうと 幾井 悠人 きただいこうざぶろう 北代滉三郎 てらおか みく 寺岡 未来
優秀賞	「剣山地域における自然景観に配慮 した治山工事について」	徳島森林管理署 治山第一係長	なかつら まさふみ 中村 正史
優秀賞	高知工業高校野球部の部室製作	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	しまさき ごうせい 島崎 晃誠 たむら よしゆき 田村 嘉志 ちかもり ひかる 近森 光 まえがわ れいいち 前川 礼一 やざわ しょういち 矢澤 彰一 やまもと たつや 山本 達也
奨励賞	ふるさと土佐清水の豊かな海とそれ を支える森林	ほんよう 土佐清水市立輪陽小学校 5年生	なかつら てつや 中村 徹弥 おかた ぜんた 岡田 善太
奨励賞	『かがわのひのき』割り箸で森林づく りー割り箸から木づかいの良さを学び、 循環型社会をつくるうー	とよがみ 三豊市立高瀬小学校 教諭	まんぎ ひろよし 萬亀 弘吉
奨励賞	「森と人とのつながり」	高知県立四万十高等学校 自然環境コース3年生	たげだ れい 武田 凜 たかま しょうた 高間 翔太
日本森林林業 振興会会長賞	「森林セラピーとその可能性」	梶原町立国保梶原病院 内科 医師 松原まろうど会 会長 四万十森林管理署 森林ふれあい係長	ばん まさつみ 伴 正海 しももと ひろゆき 下元 廣幸 もりした よしはる 森下 嘉晴
日本森林技術 協会理事長賞	ツリーシェルターを用いた低コスト 造林手法の検討	住友林業フォレストサービス(株) 森林企画部	やしろ けんいち 矢代 健一